

会

告

日本鉄鋼協会 第53回通常総会 第75回講演大会 開催ご案内

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 佐 野 幸 吉

本会は来る4月2日(火)、3日(水)、4日(木)の3日間東京大学において第53回通常総会および第75回講演大会を開催いたします。また4月5日(金)に日本金属学会と合同で見学会を催すことになりましたので、下記日程ご覧のうえ多数会員ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

日 程

4月2日(火)	9:00	学術講演
	9:00	討論会(P14参照)
	13:00	第53回通常総会、名誉会員推挙式、褒賞授与式、表彰式
	14:30	特別講演会
	18:00	懇親会
4月3日(水)	9:00	学術講演
	11:20	招待講演(IRSID...N5参照)
	13:00	討論会(P14参照)
4月4日(木)	9:00	学術講演
	11:00	報告講演会 石炭成型法委員会報告(P2参照)
	13:00	討論会(P14参照)

会 場

講演会	東京大学工学部2号館, 8号館	東京都文京区本郷 7-3-1
通常総会	東京大学法文2号館 31番教室	
特別講演会	同上	
懇親会	学士会館本館	東京都千代区神田錦町3-28

講演プログラム 本誌P1~P14ページを参照下さい。

講演概要集 講演前刷は「講演概要集」としてオフセット印刷のうえ、会誌「鉄と鋼」3号(臨時増刊号)に掲載、会員全員に配付いたします。

懇親会} 全国各地からお集まりになられる会員各位の唯一の交歓親睦の場として多数奮つてご参集下さい。
見学会} お申込みについてはN27ページをご参照下さい。

日本鉄鋼協会行事案内

開 催 日	行事(カッコ内は開催地)	申込締切	会 告
4月2(火)、3(水)、4(木) 5(金) 5(金)	第75回講演大会 見学会 溶鉄、溶滓の物性に関する討論会	3月16日	N19 N27 260 ページ
5月30(木)、31(金)	第13回技術講座 —鋼の強靱化—		N30

日本鉄鋼協会第53回通常総会開催ご通知

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 佐 野 幸 吉

本会第53回通常総会を下記の通り開催いたしますので、何卒ご出席下されたくご案内申し上げます。

なお総会にご出席なさらぬ会員各位には、別添委任状に記名捺印のうえご送付下さるか、またはご意見を4月1日（月）までに本会宛お申し出下さい。これらの手続きをとられない場合は総会の決議事項にご異議なきものとして、取扱いをさせていただきますからご了承下さい。

記

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 昭和 43 年 4 月 2 日（火）13:00 より |
| 会 場 | 東京大学法文第 31 番教室 東京都文京区本郷 7-3-1 |
| 議 案 | 1) 昭和 42 年度事業報告，収支決算ならびに財産目録の件
2) 昭和 43 年度事業計画ならびに収支予算の件
3) 理事，監事ならびに評議員選挙の件 |

名誉会員推挙式（N 23 ページ参照）

表彰式（N 24 ページ参照）

理事，監事ならびに評議員選挙について

第 53 回通常総会（昭和 43 年度）において選挙せらるべき理事，監事ならびに評議員候補者は，定款施行細則第 1 条により評議員会において別記投票用紙（N21ページ）に記載の通り推薦せられました。つきましては，名誉会員，賛助会員，維持会員および正会員各位は右候補者につき下記要領によりご投票下さるようお願いいたします。

投 票 要 領

- （1）投票用紙には，ご異議のある方に×印をつけ，その代わりにご推薦下さる方の氏名を記入して下さい。
- （2）投票用紙は本会所定のものをご使用下さい。
- （3）当日総会にご出席にならぬ方は綴込みの委任状に記名捺印のうえ協会宛ご送付下さい。
- （4）投票，委任状の送付がありません場合には 原案にご賛成のことと拝承させていただきます。

日本鉄鋼協会理事，監事，評議員

投票用紙

(敬称略)

理事候補者 (任期2年 15名)

荒木 透 井上 道雄 伊木 常世 池田 正 石渡 鷹雄 茨木 正雄
 内山 道良 幸田 成康 斎藤 正年 芝崎 邦夫 下田 秀夫 中村 正久
 富士崎成一 藤井東蒙男 藤本 一郎

監事候補者 (任期2年 1名)

三井 太佑

評議員候補者 (任期2年 125名)

間 瑞夫 東 道生 足立 彰 赤坂 武 秋田 正弥 葦沢 大義
 網谷 俊平 荒牧 寅雄 入 一二 井上 敏郎 井関 剛 井戸崎好次
 池島 俊雄 石田 四郎 石原 善雄 今井勇之進 今富 政平 岩井 英夫
 岩村 英郎 越後 正一 小田 伸彬 小田原大造 小野田武夫 尾上 慎一
 尾崎 良平 大浜 侃 岡林 邦夫 岡部 英雄 奥村 虎雄 香川 英二
 鍵和田暢男 金森 祥一 亀田 満雄 川又 克二 川村 宏矣 河合 良一
 木下 正 木下 亨 木寺 淳 喜代永政雄 北川 一栄 久米 定男
 黒田 康彦 小池 与作 小林佐三郎 小林清一郎 小林 隆 五弓 勇雄
 河野 文彦 駒井健一郎 近藤 八三 佐々川 清 佐藤 健二 佐藤 知雄
 西郷 吉郎 斎藤 弥平 酒井 重雅 酒井 佐敏 作井 誠太 作田 裕宜
 志村清次郎 数納 勲郎 菅野 五郎 菅野 猛 芹沢 正雄 園田 一夫
 田島 治 田地川建一 田中 四郎 田中 実 田村純治郎 太宰 三郎
 平 修二 高石 誠二 高尾善一郎 高野 宏 竹内 秀夫 武田 喜三
 武田 修三 谷口 光平 俵 隆治 辻畑 敬治 手島 雄二 出淵 国保
 豊田 英二 豊田 茂 中島 省一 中島 正樹 中司 正夫 中村 隆一
 中山 育雄 中山 忠行 西村吉太郎 萩原 厳 橋浦 彦三 橋口 隆吉
 橋本 宇一 早川 種三 日向 方斎 檜山 広 不破 祐 藤川 一秋
 藤木 俊三 藤田 茂 藤野忠次郎 堀田 之孝 堀田 秀次 松田 公扶
 松永陽之助 松原与三松 松本 茂樹 三島 良績 三谷 裕康 嶺 次男
 宮代 彰 森 暁 森 一美 森永 孝三 森棟 隆弘 安永 和民
 山崎 正一 山本 博 吉村 精仁 養田 実 和田 亀吉

評議員候補者 (任期1年 10名)

今里 広記 大津孝太郎 大元 博 奥村 福次 香川 進 金沢 千春
 原田 恵伍 宮下格之助 村上 英二 安田 汪

第2回 俵 賞 受 賞 者

本会では表彰規定により特別表彰選考委員会を設け、俵賞受賞者の選考を慎重に検討を重ねてまいりましたが、下記のごとく決定いたしましたのでお知らせいたします。

本賞は俵国一博士の遺徳を讀え、創立50周年(昭和40年)を記念をして設けられたもので、原則的に3年に1回国の内外を問わず鉄鋼業の進歩発達または学術、技術の研究開発に画期的功績があり、国際的に声誉ある方に授与されることになっております。なお、本賞の表彰式は、4月2日(火)開催の第53回通常総会の議事終了後に行なわれます。

俵賞受賞者

わが国鉄鋼業に対する非凡なる指導力と学会基盤の確立

名誉会員、前会長

(株)神戸製鋼所相談役

浅田 長平君

名誉会員推挙について

本会では、長年鉄鋼業界にあつてその発展に貢献のあつた J. P. Roche 氏を理事会および評議員会の議決を経て名誉会員に推挙することに決定いたしました。

推挙式は4月2日(火)に開催される第53回通常総会の際に行ない、名誉会員推挙状ならびに名誉会員章を贈呈いたします。

Mr. John. P. Roche

President American Iron and Steel Institute

特別講演会開催のお知らせ

第53回通常総会議事終了後、特別講演会を開催し下記の方々に講演願う予定であります。演題は追つてお知らせいたしますが、業界、学界の指導的立場にある最高権威者から直接講演を伺うことは、会員各位に裨益するところ大であると信じます。多数お誘い合わせのうえご来聴下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和 43 年 4 月 2 日 (火) 14:30 より (予定)

2. 会 場 東京大学法文 2 号館 31 番教室

3. 講 師 1) American Iron and Steel Institute

J. P. Roche

2) 俵賞受賞者

浅田 長平君

3) 渡辺義介賞受賞者

湯川 正夫君

4) 西山賞受賞者

的場 幸雄君

IRSIDよりの研究成果発表について

本会ではフランスの鉄鋼研究所 (IRSID) より、下記の研究成果発表の申し入れをうけ、理事会において検討いたしました結果、第75回講演大会における招待講演とすることにいたしました。講演は該当する分野の会場に入れプログラムを編成いたしました。内容も興味ある研究成果の発表と思われますので、多数ご聴講下さるようお知らせいたします。

記

第1会場 第2日 (4月2日) 13:00~13:40

The Process of Sintering and its Optimisation

IRSID M. Boucraut, R. Rochas

○B. Trentini

第2会場 第2日 (4月3日) 11:20~12:00

Characteristics of the IRSID Continuous Steelmaking Process

IRSID P. Vayssiere, J. Rouanet

C. Roederer, ○B. Trentini

服部賞, 香村賞, 俵論文賞, 渡辺三郎賞, 渡辺義介賞, 渡辺義介記念賞, 西山賞, 西山記念賞受賞者

本会におきましては、表彰規定により表彰選考委員会を設け、昭和43年度各賞受賞者の選考を慎重に行ないました結果、下記のごとく決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお表彰式は4月2日(火)開催の第53回通常総会の議事終了後に行なわれます。

服部賞	日本鋼管(株)取締役川崎製鉄所長	林 敏君
香村賞	川崎製鉄(株)取締役水島製鉄所副工場長	岩村 英郎君
俵論文賞	{ 住友金属工業(株)中央研究所主任研究員	中谷 文忠君
	〃 〃 製鉄研究室	角南 好彦君
	〃 〃 製鋼所鋼材技術課	向井 哲也君
	〃 〃 中央研究所製鉄研究室	中村 文夫君
	{ (株)日本製鋼所室蘭製作所	中川 義隆君
	〃 〃	百瀬 昭次君
渡辺三郎賞	日本特殊鋼(株)常務取締役	三宅川 隆三君
渡辺義介賞	八幡製鉄(株)代表取締役副社長	湯川 正夫君
渡辺義介記念賞	日本金属(株)取締役開発部長兼技術部長	伊東 祐一君
〃	日本鋼管(株)川崎製鉄所計測管理課長	五十部 賢次郎君
〃	富士製鉄(株)名古屋製鉄所製鉄部嘱託	小笠原 藤市君
〃	日立金属(株)若松工場次長	河原 英磨君
〃	日本特殊鋼(株)企画管理室付部長	楠 謙吾君
〃	(株)日本製鋼所鉄鋼課長	阪部 喜代三君
〃	大同製鋼(株)中央研究所化学冶金研究室長	相山 太郎君
〃	〃 〃 主任研究員	加藤 剛志君
〃	富士製鉄(株)取締役室蘭製鉄所副所長	竹内 秀夫君
〃	八幡製鉄(株)工作本部機械設計部長	深田 健三君
〃	川崎製鉄(株)水島製鉄所製鋼部長兼管理部長	八木 靖浩君
〃	三栄鉄工(株)常務取締役	安武 正幸君
〃	八幡製鉄(株)八幡製鉄所生産業務部長	山田 清太君
〃	(株)神戸製鋼所中央研究所第4研究室長	山本 俊二君
〃	北海道大学工学部冶金工学科教授	吉井 周雄君
〃	日本冶金工業(株)川崎製造所検査課長	吉武 進也君
西山賞	富士製鉄(株)代表取締役副社長 東北大学名誉教授	的場 幸雄君
西山記念賞	八幡製鉄(株)東京研究所主任研究員	市嶋 勲君
〃	科学技術庁金属材料技術研究所鋼管研究室長	内山 郁君
〃	東北大学選鉱製錬研究所助教授	大森 康男君
〃	東洋製鉄東洋鋼板総合研究所主任研究員	周藤 悦郎君
〃	住友金属工業(株)中央研究所主任研究員	田上 豊助君

見学会参加申込書

申込締切日 3月16日(土)

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3F
日本鉄鋼協会 見学会係

見	学	会	4月5日(金)	第1希望 第2希望 第3希望	班 班 班	¥ 800
会 員 資 格 名 誉 賛 助 正 学 生 氏 名 勤務先および 職 名 勤務先住所 領収書送付先 通信先(勤務 先と違う場合)						

.....切.....取.....線.....

懇親会参加申込書

申込締切日 3月25日(月)

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3F
日本鉄鋼協会 懇親会係

懇	親	会	4月2日(火)	会費	会員 800円	学生会員 500円
会 員 資 格 賛 助 正 学 生 氏 名 勤務先および 職 名 勤務先住所 領収書送付先 通信先(勤務 先と違う場合)						

第 75 回 (春季) 講演大会見学班表

昭和 43 年 4 月 5 日 (金)

班名	定員	見 学 工 場	見学時間	所 在 地	見 学 内 容	集 合 時 間 および場所
1	50	* 三井造船(株) 千葉造船所 (予定)	10:00 ~12:00	市原市八幡海岸通 1		8:00 旧赤坂離宮前 (国電・地下鉄) (四谷駅下車)
		川崎製鉄(株) 千葉製鉄所	13:00 ~15:00	千葉市川崎町 1	岸壁, 高炉, 圧延	
2	50	日本電信電話公社 電気通信研究所	9:30 ~11:30	武蔵野市緑町3-9-11		8:00 第 1 班に同じ
		東芝製鋼(株)	13:30 ~15:30	足立区新田3-29-1	製鋼, 圧延設備	
3	50	* (株)荏原製作所 羽田工場	9:30 ~11:30	大田区羽田旭町11-1	大型ポンプ, 送風機, 水車 冷凍機, 化学機械, ボイラー	8:30 第 1 班に同じ
		日本鋼管(株) 水江製鉄所	13:00 ~15:00	川崎市水江町 5	鉾石置場—高炉—分塊— 熱延工場	
4	50	* キヤノンカメラ(株) 玉川工場	10:00 ~12:00	川崎市下野毛 770	レンズ ムービーカメラの製造	8:00 第 1 班に同じ
		八幡製鉄(株) 東京研究所	13:30 ~15:30	川崎市井田1618	分析設備 試験機および付帯設備	
5	50	* (株)会田鉄工所	10:00 ~12:00	相模原市大山町2-10	工作機械設備 プレス機械組立	7:40 第 1 班に同じ
		* 日本電気(株) 相模原事業所	13:00 ~15:00	相模原市下九沢1120	クロスバー交換機製造 工程	

* 同業者お断り

第 76 回講演大会開催地について

今秋の第 76 回講演大会の開催地が決定いたしましたのでお知らせいたします。詳細については追って会告いたします。

記

1. 期 日 昭和 43 年 9 月 21 日(土), 22 日(日), 23 日(月)
2. 会 場 東北大学工学部 仙台市荒巻字青葉

第76回講演大会討論会テーマのお知らせ

今秋開催の第 76 回講演大会における討論会テーマが下記のごとく決定いたしました。多数ご応募下さるようお知らせいたします。

討論原稿の募集など詳細については追って会告いたします。

記

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 高炉プロセスの反応工学 | 座長 三本木 貢 治君 |
| 2. 鋼の凝固と介在物 | 座長 荒 木 透君 |
| 3. 鋼の脆性破壊 | 座長 田 中 実君 |
| 4. 金属間化合物による鉄鋼の析出硬化 | 座長 幸 田 成 康君 |
| 5. 鉄鋼の格子欠陥 | 座長 橋 口 隆 吉君 |

なお、第 76 回講演大会では「集合組織」について日本金属学会と共催でシンポジウムを開催いたします。

Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan

購読のお勧め

本会は、わが国の鉄鋼に関する学術、技術を海外に紹介し、わが国鉄鋼業に対する世界の認識を高め、かつ活発な交流を図る目的をもつて英文学術誌「Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan」を年6回発行しております。本誌は昭和36年に発刊された季刊誌「Tetsu-to-Hagané Overseas」の一層の充実発展を趣旨として昭和41年度より改題、増刊したもので、国内はもとより国際的にも日本の代表的かつ最高水準の英文鉄鋼学術誌として認められております。

従来「Tetsu-to-Hagané Overseas」が和文会誌からの翻訳を主体としていたのにひきかえ、本誌は著者の独創的研究成果をまとめた research article, 単なる総合報告でなく、著者の独特な見解を十分におこなった critical review など豊富な内容を誇っております。近い将来には年間12号発行の予定です。

本会会員で、和文会誌「鉄と鋼」に加えてさらに本誌の購読を希望される方には、1,200円の追加料金で両誌が定期的に配布されます。また和文誌「鉄と鋼」にかえて本誌のみの購読を希望される方には、追加料金なしで、本誌が年間6冊配布されます。（なお本誌の非会員に対する定価は1冊1,000円です。）

鉄鋼の技術研究に関して世界に先がける豊富な知識を得るため技術者研究者の必読の書としてお勧めいたします。

本誌購読希望の方は会誌1号、2号綴込みの申込葉書に必要事項をご記入のうえ、本会宛ご郵送下さい。

欧文誌購読料

	追加料金
「鉄と鋼」に加えてさらに「Trans., I.S.I.J.」を購読	年額 1,200円
「鉄と鋼」にかえて「Trans., I.S.I.J.」のみ購読	追加料金不要

「鉄と鋼」広告掲載料金改正について

会誌「鉄と鋼」は内容の充実にともない、発行部数も著るしく増加してまいりましたが、最近用紙代、印刷費など諸経費の値上りがはなはだしいものがあります。つきましては昭和43年4月号掲載の分よりやむをえず広告掲載料金を下記のごとく改正いたしますのでお知らせいたします。なにとぞご了承のうえ今後ともよろしく本誌をご利用下さるようお願いいたします

会誌「鉄と鋼」広告掲載料金（円）

表紙	紙	4	1ページ	55,000	色紙	1ページ	42,000
表紙	紙	3	1ページ	42,000	前付	1ページ	34,000
表紙	紙	2	1ページ	50,000	後付	1ページ	30,000
綴込			1枚	42,000	記事広告	1ページ	30,000

なお、本会誌の広告は下記において取扱っておりますので、掲載ご希望の方はお申しつけ願います。

(株) 協会通信社 東京都中央区銀座西7丁目2番地ニューギンザビル
電話 (571) 8291 (代表)

(株) 広和堂 東京都港区東麻布1丁目4番地 朗生ビル
(表紙3, 4のみ取扱い) 電話 (584) 6791 (代表)

第13回技術講座開催のお知らせ

— 5 月 30 日, 31 日 —

本会では会員各位はじめ関係各位のご要望により、鉄鋼界にあつて製造、研究の業務に携わる人々が常識として把握しなくてはならないテーマを広く取り上げ、それぞれの権威者から最近の動向、発展の方向についてお話を願ひ、討論を行なうために技術講座を開催してまいりました。

第13回技術講座は「鋼の強靱化」をテーマに取り上げ、下記演題のもとに講師にご講演をお願いすることになりました。お誘い合わせの上ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

1. 期 日 昭和43年5月30日(木), 31日(金)

2. 会 場 農協ホール 東京都千代田区大手町 1-5

(国鉄東京駅丸ノ内北口下車徒歩約10分
地下鉄丸ノ内線、東西線大手町下車 農協ビル8階)

3. プログラム — 鋼の強靱化 —

第1日(5月30日(木) 9:30~15:30)

9:30 鋼のマルテンサイト変態

八幡製鉄(株) 西山 善次君

13:00 鋼の強化と転位論

東京大学 鈴木 平君

第2日(5月31日(金) 9:30~15:30)

9:30 加工熱処理

京都大学 田村 今男君

13:00 析出硬化

東京大学 荒木 透君

4. 聴講無料 事前のお申し込みは不要です。

5. テキスト代 1000円

第4回国際金属腐食会議について

表記会議は来る1969年9月にオランダアムステルダムにおいて開催されますが、これに関する第1回サーキュラーが到着しましたので、下記のように要綱をお知らせいたします。

第5回は日本で開催される予定となっておりますので、今回は特に多数の方のご参加を期待いたします。

記

1. 期 日: 1969年9月7日~14日

2. 主 題: (1) 腐食過程(腐食におよぼす機械的影響, 腐食におよぼす照射の影響, 高温酸化, 大気腐食, その他)

(2) 防食法(インヒビター, 不動態化とアノード防食, カソード防食, 有機および無機の非金属皮覆, 金属皮覆, その他)

上記2主題に関して基礎的理論と研究, 実験方法および事故例とその対策などが討論されます。

3. 提出論文: 約100篇に限定する予定。8つの合同セッションを開く予定。論文提出希望者は所定の用紙を用いて1968年5月1日までに到着するよう郵送して下さい。

4. 用 語: 英, 仏(同時通訳併用の予定)

5. 予 稿 集: 会議1カ月前に参加者に送付します。

6. 参加登録: 所定用紙に書きこんで事務局宛お送り下されば今後の通知, 登録用紙などをお送りいたします。

7. 会議事務局:

4th International Congress on Metallic Corrosion Secretary Organization Committee,
Pastbus 52, Delft, The Netherlands

追記: 申込用紙をご入用の方は下記にご連絡下さい。

東京都目黒区中目黒2丁目3の12 金属材料技術研究所
伊 藤 伍 郎 (Tel. 712-3181)